令和４年度

入学者選抜要項

令和３年６月４日付け文部科学省高等教育局長より通知された「令和４年度大学入学者選抜実施要項」を受けて，入学案内等で公表した日程及び選抜方法について一部変更があります。さらに今後，新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては，募集要項の公表後や出願期間後であっても，やむを得ず試験期日や選抜方法を変更する等の緊急措置を講じる場合があります。その場合は，本学ホームページ「高校生・受験生向けサイト」でお知らせしますのでご留意願います。

東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

入学希望者へのメッセージ

誰も見たことのない未来をつくりだせ

世界はいまだ謎に満ち，課題にあふれています。生命はいかにして誕生したのか。人工知能は医療を，経済を，社会を，どう変えるのか。病に伏した人をどう癒すのか。宗教間の対立は止むことはなく，エネルギー問題も重くのしかかっています。一朝一夕には答えの見いだせないこうした謎や課題をめぐって，いまこの瞬間も，世界中の科学者や技術者，その他各分野の専門家たちが，その叡智をかけて議論しあっています。真理の探究と幸せの追求をかけた人類のあくなき挑戦。その壮大な歩みに，あなたは仲間入りしようとしています。

1881 年に創立されて以来，時代を切り拓くフロントランナーとして，理工系総合大学としての使命を担ってきた東京工業大学。目指すのは，科学技術の強い基盤を持ちながら，従来の“理系”の枠を超え出ること。なぜなら，どんなに高度で専門的な知識でも，ただそれを持っているだけでは，わくわくするような発見や発明に出会うことも，困難な問題を解決に導くことも，決してできないからです。だからこそ，本学の門を叩こうとするあなたには，以下のような心構えを持ってのぞんでほしい。“理系”の枠に安住しない人を，本学は求めています。

①高い志を持ってほしい

これからの時代，ただ引かれたレールに乗っかっていくだけ，ただ自分の専門に没頭するだけでは通用しません。あなたは将来，何を為したいのか。社会に，どんな貢献をしたいのか。高い志を持ち，それを育てる人であってほしい。その志にかたちを与えるのが科学技術です。東工大は，志をかたちにしようとする人を支えます。失敗をおそれず挑戦し，すすんで学ぶ人を歓迎します。

②多角的な視点を持ってほしい

常識や「空気」にとらわれた思考では，新しい発想は生まれません。自分の強みを持ちつつ，幅広い分野に興味を広げ，専門の異なる人や文化の異なる人とも協働できる柔軟な姿勢を持って，世界にはばたいてほしい。ものごとを多角的にとらえる視点からこそ，「そんな考え方もあったのか！」と人々を驚かせるアイディアは生まれます。人と人，知と知を結びつけようとする人を本学は求めます。

さあ，誰も見たことのない未来を，ともに作り出していきましょう。気概あるみずみずしい知性と出会えることを，期待しています。

〈学士課程〉入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像　科学技術への知的好奇心や探究心と社会に貢献したいという志を有し，
その基本的概念や基礎知識とそれを活用できる力を身に付けた人材を求めます

求める力

専門力	理数系分野に関する基本的概念や基礎知識
教養力	社会に関する基礎的知識と語学力
コミュニケーション力	自らの考えを具体的に表現できる力
展開力	論理的に思考して自らの知識を活用できる力

アドミッション・ポリシー

各学院が求める人材像

【理学院】
理学院学士課程では，幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて，社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。そのために次のような学生を求めます。
・自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
・教わるだけでなく，自ら主体的に学ぶことができる人
・自分の意見を持ち，他者と議論することができる人
・十分な学力と表現力を持つ人

【工学院】
工学院学士課程では，人の生活を豊かで快適なものとするための工学的知識・技術を習得し，さらにそれらを進化させるための研究活動の基本を身につけます。そのために，次のような人材を求めます。
・工学的知識・技術を活かして人類と社会の発展に貢献しようという高い志を有する人
・自らの能力向上のために積極的に学ぶ意欲をもつ人
・工学を学ぶために，理数系科目を中心とする確実な基礎学力を身につけた人
・論理的思考力を有し，他者と意思疎通できる基本的なコミュニケーション力を備えた人

【物質理工学院】
物質理工学院学士課程では，材料科学および応用化学に関する確かな基礎学力と明快な論理的思考力を持ち，環境調和型社会の発展に貢献できる人材を養成します。そこで，次のような学生を求めます。
・自然科学の幅広い分野について基礎学力を有し，柔軟な発想ができる人
・材料や応用化学に関係する諸現象について積極的に学習する意欲がある人

【情報理工学院】
情報理工学院学士課程では，よりよい情報化社会を築くために必要となる情報理工学に関する幅広い知識と柔軟で広い視野を持った人材の育成を目指します。そのために，次のような資質と能力を持つ人材を求めます。
・数学や理科に関する十分な基礎学力を有する人
・数理科学に興味を持ち，コンピュータの仕組みや活用法に興味を持つ人
・情報理工学の知見を活かし情報化社会の発展に貢献したいという志を有する人

【生命理工学院】
生命理工学院学士課程では，理工系の基礎知識や生命理工学分野の基礎的専門知識を修得させ，生命理工学に関連した科学・技術の発展に資する課題解決力と倫理観を養います。そこで，本学院では次のような能力と適性をもつ人材を求めます。
・自然科学の基本的な概念や考え方を身に付け，応用できる力を有している人
・論理的に思考し，集中してものごとに取り組むことができる人
・生命理工学の専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している人
・生命現象を探究し，科学・技術の発展に貢献する意欲を有している人

【環境・社会理工学院】
環境・社会理工学院学士課程では，人類と社会の持続的発展に貢献するために理工学的叡智に加えて人文社会科学的叡智を広く環境や社会に応用・展開して卓越した学術・技術を創生するとともに，高い知性と豊かな教養，国際的な広い視野と深い思考能力を備え，科学・技術の専門家として社会で活躍できる人材を養成する。そこで，本学院では特に次の能力と適性を持つ人材を求めます。
・理数系分野に関する基本的概念や確実な基礎知識を持つ人
・学士課程の専門力を身につけるため必要となる基礎的な語学力を持つ人
・自らの能力向上のため主体的に理工学分野ならびに人文社会科学分野について学ぶ意欲を持つ人
・人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を持つ人

東工大教育ポリシー

本学では，以下に記載している「教育目標」と「養成する人材像」を掲げるとともに，全学及び各系で「卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）」，「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」，「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を定め，教育ポリシーとして位置づけています。

教育ポリシー全文は次の web サイトに掲載中です。
[教育ポリシー] ≪ [東工大の方針] ≪ [東工大について] ≪ [本学 HP トップ]
https://www.titech.ac.jp/0/about/policies/education

教育目標

知的好奇心に端を発した学術研究は新たな技術と産業を生み，不可能を次々と可能にし，現代社会を築いてきました。
現在も，真理の探究と知の継承及び発展に加えて，持続可能な社会に導く革新的科学技術の創出が求められ，世界最高水準の研究とともに教育に対する期待がますます高まっています。
それに応えるべく，本学では，

- 確かな専門力
- 豊かな教養力
- 柔軟なコミュニケーション力
- 以上の修得した知識や技能等を統合し活用できる多様な展開力

を身に付け，「挑戦し続けるフロントランナー」として困難に立ち向かう気概と倫理観をもって，より良い社会を築くことができる人材を養成します。
そのために，世界最高水準の研究の中に学生を招き入れ，学生が自ら学び考える教育を実施します。

養成する人材像

確かな専門力，豊かな教養力，柔軟なコミュニケーション力，多様な展開力を身に付け，科学技術を基盤としてより良い社会を築くことができる，「挑戦し続けるフロントランナー」を養成します。

≪学士課程≫　「科学技術を基盤として自ら学び考えることができる人材」
学士課程では，基盤的な専門力，並びに，幅広い教養，そして，論理的に表現できる力を身に付け，倫理観と未知の世界に挑戦する意志をもって，自ら学び考えて物事に取り組むことができる人材を養成します。

目　　次

入学希望者へのメッセージ　　誰も見たことのない未来をつくりだせ
〈学士課程〉入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
東工大教育ポリシー

Ⅰ　募集人員

1　学院，学院を構成する系及び募集人員 …… 1
2　令和4年度学士課程入学試験における試験ごとの募集人員 …… 1

Ⅱ　一般選抜（前期日程）

1　出願資格 …… 2
2　試験日程 …… 3
3　入学者選抜方法 …… 3

Ⅲ　学校推薦型選抜（理学院） …… 6

Ⅳ　総合型選抜（工，物質理工，情報理工，生命理工，環境・社会理工学院） …… 9

Ⅴ　私費外国人留学生特別入試 …… 15

Ⅵ　国費外国人留学生優先配置入試 …… 16

Ⅶ　その他

1　障害等の事前相談について …… 17
2　入試情報の提供について …… 17
3　学士課程2年目における系ごとの受入可能人数（参考） …… 17

Ⅷ　令和4年度募集要項等の請求方法 …… 18

Ⅰ　募集人員

１　学院，学院を構成する系及び募集人員

学院	系	募集人員
理学院	数学系	151 人
	物理学系	
	化学系	
	地球惑星科学系	
工学院	機械系	348 人
	システム制御系	
	電気電子系	
	情報通信系	
	経営工学系	
物質理工学院	材料系	178 人
	応用化学系	
情報理工学院	数理･計算科学系	92 人
	情報工学系	
生命理工学院	生命理工学系	150 人
環境･社会理工学院	建築学系	109 人
	土木･環境工学系	
	融合理工学系	
全学合計		1028 人

２　令和４年度学士課程入学試験における試験ごとの募集人員

学　院	募集人員	一般選抜 （前期日程）	学校推薦型	総合型
理学院	151 人	143 人	8 人	―
工学院	348 人	314 人	―	34 人
物質理工学院	178 人	160 人	―	18 人
情報理工学院	92 人	86 人	―	6 人程度
生命理工学院	150 人	135 人	―	15 人
環境･社会理工学院	109 人	92 人	―	※17 人
合　計	1028 人	930 人	8 人	90 人

※　環境・社会理工学院の総合型選抜は系単位で募集します。Ａ（建築学系）７名，Ｂ（土木・環境工学系）５名，Ｃ（融合理工学系）５名それぞれ募集します。

Ⅱ　一般選抜（前期日程）

１ 出願資格

次の各号のいずれかに該当し，令和４年度大学入学共通テスト（以下「共通テスト」という。）のうち，本学が指定する教科・科目をすべて受験した者が出願できます。

なお，本学における共通テストの成績については，令和４年度共通テストの成績のみを利用し，令和３年度以前の共通テスト及び大学入試センター試験の成績は利用しませんので注意してください。

１　高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和４年３月卒業見込みの者
２　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び令和４年３月修了見込みの者
３　学校教育法施行規則第１５０条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和４年３月３１日までにこれに該当する見込みの者
（１）外国において，学校教育における１２年の課程を修了した者及び令和４年３月３１日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
（２）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程(又は相当する課程)を有するものとして認定（又は指定）した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和４年３月３１日までに修了見込みの者
（３）専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者及び令和４年３月３１日までに修了見込みの者
（４）文部科学大臣の指定した者（昭和２３年文部省告示第４７号）
（５）高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む）及び令和４年３月３１日までに合格見込みの者で，令和４年３月３１日までに１８歳に達するもの
（６）本学において，個別の出願資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和４年３月３１日までに１８歳に達するもの

【注】　上記出願資格３の（６）により出願する者は，個別の出願資格審査が必要となりますので，入試課に連絡のうえ（03-5734-3990），必要書類を下記の期間までに申請してください。

申請書類等の詳細については，本学のホームページ（https://www.titech.ac.jp/）→「大学で学びたい方（高校生・受験生サイトへ）」→「入学案内」→「募集要項」→「出願資格審査実施要項」にて確認してください。

・共通テスト出願時に，本学を志望する者
　令和３年８月１６日（月）～８月２５日（水）（必着）
・総合型選抜を志望する者
　令和３年１１月４日（木）～１１月１２日（金）（必着）
・共通テスト出願の際，他大学の出願資格認定を受けた者で，その後本学に志望変更する者
　令和４年１月６日（木）～１月１４日（金）（必着）

出願資格審査の申請書類は，持参又は書留郵便により送付してください。（持参の場合は，いずれの場合も１７時までに提出してください。）

※出願に際しての注意

令和４年度国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）の入学試験は，「分離分割方式」により実施されます。

志願者は，分離分割方式の「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ，「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ，合計二つの大学・学部に出願することができます。したがって「前期－後期」の併願は認められますが，「前期－前期」，「後期－後期」の併願は認められませんので注意してください。

この際，「前期日程」の試験に合格し，３月１５日までに入学手続を行った者は，他大学の「後期日程」に出願し受験しても，合格者とはなりませんので注意してください。

２ 試験日程

	試　験　日　程
出 願 期 間	令和４年１月２４日（月） ～ ２月４日（金）
個別学力検査 実　施　日	令和４年２月２５日（金），２６日（土）
合格者発表日	令和４年３月９日（水）
入 学 手 続 日	令和４年３月１５日（火）

３ 入学者選抜方法

入学者の選抜は，学力検査（共通テストと本学が実施する個別学力検査）及び調査書によって行います。

１．共通テストの取扱い

（１）受験を要する教科・科目

志願者は，以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。なお，指定された教科・科目を１つでも受験していない場合は，本学に出願することはできません。

教　科	科　目
国　語	「国語」
地理歴史， 公　民	「世界史Ｂ」，「日本史Ｂ」，「地理Ｂ」，「現代社会」，「倫理，政治・経済」から１科目
数　学	「数学Ⅰ・数学Ａ」，「数学Ⅱ・数学Ｂ」の２科目
理　科	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目
外 国 語	「英語(ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む)」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１科目

注. 「地理歴史，公民」において，指定した科目数を超えて受験した場合には第１解答科目の得点を用います。ただし第１解答科目が本学が指定した科目でない場合には，出願することができません。（この場合の第１解答科目とは，「地理歴史，公民」の試験時間に２科目を受験した場合において，前半の６０分間で解答した科目のことをいいます。）

２．２段階選抜

（１）第１段階選抜

共通テストの成績をもとに２段階選抜を行います。
全学院の志願者計が募集人員計の４倍を超えた場合，本学が指定する共通テストの５教科７科目の成績（得点合計）により第１段階選抜を行うことがあります。
なお，共通テストの成績については，第１段階選抜にのみ使用します。

ア　共通テストの配点

教　科	国　語	地理歴史，公　民	数　学	理　科	外国語	合　計
配　点	２００	１００	２００	２００	２００※	９００

※　外国語科目として「英語」を選択した場合，２００点の内訳は【リーディング】１００点，【リスニング】１００点とします。
　なお，「英語」を選択し，【リスニング】を免除された者は，【リーディング】の配点１００点を２００点に換算した得点とします。

イ　第１段階選抜合格者発表日　　令和４年２月１５日（火）

（２）第２段階選抜

第１段階選抜に合格した者に対して，個別学力検査を実施します。

ア　試験日等

試験日	令和４年２月２５日（金）		令和４年２月２６日（土）	
科目及び試験時間	数　学 9:30～12:30 (180分)	英　語 14:00～15:30 (90分)	物　理 9:30～11:30 (120分)	化　学 13:00～15:00 (120分)

イ　試験内容

科　目	科　目　内　容	必須・選択の別
数　学	「数学Ⅰ」，「数学A」，「数学Ⅱ」，「数学B（数列，ベクトル）」，「数学Ⅲ」を，その総合問題や応用問題を含めて，『数学』として出題する。	必　須
物　理	「物理基礎」，「物理」を合わせて『物理』として出題する。	必　須
化　学	「化学基礎」，「化学」を合わせて『化学』として出題する。	必　須
英　語	「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」を合わせて『英語』として出題する。	必　須

ウ　個別学力検査の配点

科　目	数　学	物　理	化　学	英　語	合　計
配　点	３００	１５０	１５０	１５０	７５０

エ　試験場

個別学力検査は，本学大岡山キャンパス及び田町キャンパス（本学附属科学技術高等学校）で行います。なお，都合により，本学以外の外部試験場で行うことがあります。

３．合否判定

個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して合格者を決定します。

第２，第３志望を記入した場合は，第１志望で不合格となっても，第２，第３志望で合格することがあります。

個別学力検査の得点が同じ場合については，該当する学院の志望順位が高い者を上位とします。

なお，志望学院は第３志望まで志望できます。

４．追試験

本学では，新型コロナウイルス感染症に罹患した志願者の受験機会を確保するため，一般選抜（前期日程）個別学力検査において追試験を実施します。

ア　対象者

新型コロナウイルス感染症に罹患したこと等により，個別学力検査を受験できなかった志願者で，２月２６日（土）の試験終了時までに追試験の申請手続を完了した者

イ　日程等

追試験実施日

試験日	令和４年３月２２日（火）		令和４年３月２３日（水）	
科目及び試験時間	数　学 9:30～11:30 (120分)	英　語 13:00～14:30 (90分)	物　理 9:30～11:30 (120分)	化　学 13:00～15:00 (120分)

合 格 発 表 日　　令和４年３月２６日（土）（予定）

入 学 手 続 日　　令和４年３月３０日（水）

ウ　試験内容・個別学力検査の配点

通常の一般選抜（前期日程）と同様

エ　試験場

追試験は本学大岡山キャンパスで行います。

オ　その他

詳細は，１０月下旬頃に公表する募集要項を確認してください。

Ⅲ　学校推薦型選抜（理学院）

個別学力検査を免除し，共通テストの成績，推薦書，研究内容の要約並びに，調査書の内容のうち学業成績及び推薦理由に関する部分を総合的に評価し，合格者を決定します。

１．求める学生像

理学院は幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて，社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。このために次のような学生を求めています。

① 自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
② 教わるだけでなく，自ら主体的に学ぶことができる人
③ 自分の意見を持ち，他者と議論することができる人
④ 十分な学力と表現力を持つ人

２．出願資格

次のいずれかに該当し，かつ，学校長が責任をもって推薦できる者とする。

① 高等学校又は中等教育学校を令和４年３月卒業見込みの者
② 通常の課程による１２年の学校教育を令和４年３月修了見込みの者

３．試験日程

	試　験　日　程
出 願 期 間	令和３年１２月１７日（金） ～ １２月２１日（火）
合格者発表日	令和４年２月１５日（火）
入 学 手 続 日	令和４年２月２１日（月）

４．共通テストの取扱い

（１）受験を要する教科・科目

志願者は，以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。
なお，指定された教科・科目を１つでも受験しない場合は，合格の対象とはなりません。

教　科	科　目
国　語	「国語」
地理歴史，公　民	「世界史Ｂ」，「日本史Ｂ」，「地理Ｂ」，「現代社会」，「倫理，政治・経済」から１科目
数　学	「数学Ⅰ・数学Ａ」，「数学Ⅱ・数学Ｂ」の２科目
理　科	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目
外 国 語	「英語(ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む)」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１科目

注．「地理歴史，公民」において，指定した科目数を超えて受験した場合には第１解答科目の得点を用います。ただし第１解答科目が本学が指定した科目でない場合は，合格の対象とはなりません。（この場合の第１解答科目とは，「地理歴史，公民」の試験時間に２科目を受験した場合において，前半の６０分間で解答した科目のことをいいます。）

（２）各教科の配点

共通テストの各教科の配点は，下表のとおりです。

教　科	国　語	地理歴史，公　民	数　学	理　科	外国語	合　計
配　点	２００	１００	２００	２００	２００※	９００

※　外国語科目として「英語」を選択した場合，２００点の内訳は【リーディング】１００点，【リスニング】１００点とします。
なお，「英語」を選択し，【リスニング】を免除された者は，【リーディング】の配点１００点を２００点に換算した得点とします。

５．推薦要件等

（１）推薦人員

学校長が下記の推薦要件①及び②により推薦できる人数は合計２名までとします。
推薦要件③により推薦できる人数は制限がありません。

（２）推薦要件

理学における高い能力を示す下記の ①，②，③ のいずれかに該当し，学校長が責任をもって推薦でき，合格した場合には必ず入学することを確約できる者。

① 正規の授業科目の一環として実施した課題研究（理学及びそれに関連した内容に限る）で主導的な役割を果たし，優れた成果を挙げてそれをとりまとめて発表した者
- 課題研究の例1．SSHの課題研究で○○○に関する研究を行い，全国または地域の研究交流会等で発表。
- 課題研究の例2．卒業研究として○○○に関する研究を行い，校内で発表。
- 課題研究の例3．総合学習で行った研究成果を大学主催や地区の研究交流会等で発表。

② 課外活動において理学に関連した研究を行って優れた成果を挙げ（主導的な役割を果たしたことが必要），それをとりまとめて校外で発表したことを客観的に示す資料を提出できる者
- 課外活動の例1．○○部のクラブ活動で２年間継続して研究を実施し，校外の参加者も含む学校内外で開催の研究会，研究交流会等で発表。
- 課外活動の例2．夏休みに１０日間継続して△△で野外調査を実施し，校外の参加者も含む学校内外での研究会，研究交流会等で発表。

③ 数学，物理，化学，地学のいずれかの国際科学オリンピックに日本代表として出場した者，又は国際科学オリンピックの国内予選に相当する地区大会等で優秀な成績を収めた者

注．上記の推薦要件 ① 及び ② における「優れた成果」とは，学校内で現在及び過去の生徒との比較において優れていると学校長が認定できるものを指します。

６．提出書類等

各推薦要件における推薦書等への記載事項は下記を参照ください。

（１）推薦書への記載事項　（学校長による記載）

ア 推薦要件 ① について
- ・課題研究を行った科目名（総合的な学習等の一部として行った場合も含む）
- ・当該課題研究が特に優れていると判断される理由
- ・グループで研究を行った場合は志願者の果たした役割を明示すること
- ・学業や人物に関する所見

イ 推薦要件 ② について
- ・課外活動で行った研究の題目
- ・当該課外活動における研究が特に優れていると判断される理由
- ・グループで研究を行った場合は志願者の果たした役割を明示すること
- ・学業や人物に関する所見

ウ 推薦要件 ③ について
- ・出場した国際科学オリンピック又はその国内予選に相当する大会について
  （名称・開催年月・開催場所，入賞記録等の成績の詳細）
- ・学業や人物に関する所見
- ・添付資料及びその簡単な説明（２点以内）
  （国際科学オリンピック又はその国内予選に相当する大会における入賞記録等，収めた成績を証明する書類のコピーを含む）

（２）研究等の内容の要約　（志願者本人による記載）

ア 推薦要件①　課題研究の内容の要約（課題研究用）
イ 推薦要件②　課外活動における研究の内容の要約（課外活動用）
ウ 推薦要件③による出願の場合は不要

（３）願書提出

出願書類は，当該学校長からの提出となります。

Ⅳ　総合型選抜 （工，物質理工，情報理工，生命理工，環境・社会理工学院）

入学者の選抜は，学力検査（共通テストと本学が実施する個別学力検査），志望理由書，調査書及び各学院が指定する提出書類によって行います。

１．求める学生像

（１）工学院

機械系，システム制御系，電気電子系，情報通信系，経営工学系の学問分野に強い興味を抱き，人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志と理系科目を中心に十分な基礎学力を有する者。とりわけ総合型選抜では，柔軟な発想力と，その発想を他者と共有するための説明力および他者の発想を理解できる能力に秀でた素質が認められる者を強く求めます。

（２）物質理工学院

化学と物理を基盤として，自然科学の幅広い分野について基礎学力を有し，柔軟な発想ができる者，また，物質分野，すなわち材料や応用化学に関係する諸現象について積極的に学習する意欲があり，環境調和型社会の発展に貢献しようという強い志をもつ者。とりわけ総合型選抜では，これらの資質や能力に秀で，自分の考えをしっかりと他者に説明できる人を求めます。

（３）情報理工学院

次のような資質と能力を持つ人を求めます。数学や理科に関する十分な基礎学力を有する人，数理科学に強い興味を持つ人，コンピュータの仕組みや活用法に興味を持つ人，情報化社会の発展に貢献したいという志を有する人。とりわけ総合型選抜ではこれらの資質や能力のいずれかに秀で，自発的に活動できる人を強く求めます。

（４）生命理工学院

生命現象を徹底的に探求したいという旺盛な知識欲を持つ者，また，そこから得られた知識を応用して新しい創造的世界を開拓したいという意欲にあふれる者など，チャレンジングな理系精神を持って生命理工学を学びたい者。とりわけ総合型選抜では，生物に秀でた素質が認められる者を求めます。

（５）環境・社会理工学院

人類と社会の持続的発展に環境と生活･産業基盤の観点から貢献しようという高い志を有し，理系科目を中心に確実な基礎学力を備えた者。とりわけ総合型選抜では，ローカルおよびグローバルな問題の解決に対する柔軟な発想力と，その発想を他者と共有するための表現力の２点に秀でた素質が認められる者を強く求めます。

２．出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和４年３月卒業見込みの者
② 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び令和４年３月修了見込みの者
③ 学校教育法施行規則第１５０条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和４年３月３１日までにこれに該当する見込みの者

３．試験日程

	試　験　日　程
出 願 期 間	令和３年１２月１７日（金） ～ １２月２１日（火）
第１段階選抜 合格者発表日	令和４年２月７日（月）
第２段階選抜 個別学力検査 実　施　日	令和４年２月１１日（金）
合格者発表日	令和４年２月１５日（火）
入 学 手 続 日	令和４年２月２１日（月）

４．共通テストの取扱い

（１）受験を要する教科・科目

志願者は，以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。
なお，指定された教科・科目を１つでも受験しない場合は，本学を受験することはできません。

教　科	科　目
国　語	「国語」
地理歴史， 公　民	「世界史Ｂ」，「日本史Ｂ」，「地理Ｂ」，「現代社会」，「倫理，政治・経済」から１科目
数　学	「数学Ⅰ・数学Ａ」，「数学Ⅱ・数学Ｂ」の２科目
理　科	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目
外 国 語	「英語(ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む)」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１科目

注．「地理歴史，公民」において，指定した科目数を超えて受験した場合には第１解答科目の得点を用います。ただし第１解答科目が本学が指定した科目でない場合には，出願することができません。（この場合の第１解答科目とは，「地理歴史，公民」の試験時間に２科目を受験した場合において，前半の６０分間で解答した科目のことをいいます。）

（２）各教科の配点

共通テストの各教科の配点は，下表のとおりです。

教　科	国　語	地理歴史，公　民	数　学	理　科	外国語	合　計
配　点	２００	１００	２００	２００	２００※	９００

※　外国語科目として「英語」を選択した場合，２００点の内訳は【リーディング】１００点，【リスニング】１００点とします。
なお，「英語」を選択し，【リスニング】を免除された者は，【リーディング】の配点１００点を２００点に換算した得点とします。

５．出願に際しての注意

合格した場合には必ず入学することを確約できること。

６．提出書類等

ア　全学院共通

・志望理由書

志望理由を 800 字以内で記述

イ　情報理工学院

・活動実績報告書

活動実績報告書は，志願者の活動や研究を志願者本人が記載するものです。

活動や研究の例：ソフトウェアの開発や調査，数学オリンピック，情報オリンピックやプログラミングコンテストへの参加，難しい数学の証明への挑戦，学内や学外での課題研究，数学セミナーの「エレガントな解法求む」に採用された経験，機械学習ツールの使用経験等

ウ　生命理工学院

・志望理由書（800 字以内）の内容について

学習・活動・研究の実績など，自らのアピールを含めてください。

例：生物が好きで取り組んだ学習や活動。授業や課外での取り組みや活動（生物に限定しない）。その他，困難を乗り越えてやり抜いたこと。

なお，新型コロナウイルス感染症対策による，各種活動・催し等の中止など変更による影響に配慮するので，当初の計画や代替の活動，感染症対策下における工夫など，アピールできるものを自由に記してください。

７．２段階選抜

（１）第１段階選抜

ア　試験内容

【工学院，物質理工学院，環境・社会理工学院Ａ，Ｂ】

志願者数が学院（環境・社会理工学院においてはＡまたはＢ）ごとの募集人員の**約２～３倍**を超えた場合には，本学が指定する共通テスト５教科７科目の成績（得点合計）により第１段階選抜を行うことがあります。

【情報理工学院】

志願者数が学院の募集人員の**約２～３倍**を超えた場合には，共通テストの得点と出願書類を用いて第１段階選抜を行うことがあります。第１段階選抜の判定では活動実績報告書の内容を重視します。共通テストの得点は，基礎学力の判定のために用い，概ね６５０点以上の得点かどうかで判断します。

【生命理工学院】

共通テストの得点は，基礎学力の判定のために用い，概ね６５０点以上の得点かどうかで第１段階選抜を行います。さらに，志願者が学院の募集人員の**約２～３倍**を超えた場合には，共通テストの得点と出願書類を用いて第１段階選抜を行うことがあります。

【環境・社会理工学院Ｃ】

志願者数が環境・社会理工学院Ｃの募集人員の**約２～３倍**を超えた場合には，共通テストの得点と志望理由書，調査書を用いて第１段階選抜を行うことがあります。共通テストの得点は基礎学力の判定のために用い，概ね７００点以上の得点かどうかで判断します。

イ　第１段階選抜合格者発表日　　令和４年２月７日（月）

（２）第２段階選抜

第１段階選抜に合格した者に対して，次のとおり行います。

ア　試験日等

・第２段階選抜試験実施日　　令和４年２月１１日（金）

◎個別学力検査（総合問題）

学　院	総合問題		試験時間	配点
工学院	筆 記 面 接		9:30～11:30（120 分） 13:30～16:30	100
物質理工学院	筆 記 面 接		9:30～11:00（90 分） 13:00～18:00	100
情報理工学院	面 接		9:30～18:00	100
生命理工学院	筆 記 面 接		9:30～11:00（90 分） 13:30～18:00	100
環境・社会理工学院	A	造形課題	9:30～11:30（120 分）	100
	B	筆 記 面 接	9:30～11:00（90 分） 13:00～16:30	100
	C	面 接	9:30～12:30	100

イ　試験内容等

学　院	総合問題		内　　容
工学院	筆 記		数学や物理に関連した工学の基礎となる課題の設問により，論理的な思考力，解決力および記述力を評価する。
	面 接		工学分野に対する志望動機，与えられた物理や数学のテーマに関して論理的かつ明快に説明する能力を評価する。
物質理工学院	筆 記		自然科学全般を範囲とし，特に化学と物理を中心とする知識及び考え方について出題し，論理的な思考力とともに記述力も評価する。
	面 接		科学的な知識及び考え方について試問し，考察力，表現力とともに物質についての科学技術を学ぶ上での適性を評価する。
情報理工学院	面 接		志願者の活動実績報告書に関する発表や質疑応答等に基づき，情報に対する適性・素養・説明能力を評価する。
生命理工学院	筆 記		生物に関する設問により，基礎学力，論理的な思考力及び記述力を評価する。
	面 接		生命理工学分野に対する志望動機，学習意欲，論理的な思考力及び適性を評価する。
環境・社会理工学院※	A	造形課題	高校数学Ⅲ程度までの数学を応用した建築に関連する形態の造形，スケッチおよび説明文を解答させ，建築・都市空間の創造力を評価する。
	B	筆 記 面 接	国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して，問題の所在を整理し，解決できる素養並びにその表現の能力を評価する。
	C	面 接	グローバル化する世界の環境および社会的な問題について見解を論理的に形成し，それを表明し，審査員と質疑応答する面接を行う。これによって論理的な思考力，表現力，対話によって思考を深める力を評価する。

※　環境・社会理工学院では，学士課程２年目の系所属の際に総合問題Ａを受験し合格した者は建築学系に，総合問題Ｂを受験し合格した者は土木・環境工学系に，総合問題Ｃを受験し合格した者は融合理工学系に，それぞれ所属する。

ウ　試験場

個別学力検査は，本学大岡山キャンパスで行います。

エ　調査書の評価項目

調査書は，大学入学者選抜における学力の３要素の内，「主体性を持って多様な人々と共同して学ぶ態度」を評価するための資料として活用し，評価項目は下記項目のとおりとします。

評価項目	新調査書における記載該当欄
1. 学習の姿勢等	7. 指導上参考となる諸事項 (1)学習における特徴等 (2)行動の特徴，特技等
2. 課外活動実績	7. 指導上参考となる諸事項 (3)部活動，ボランティア活動，留学・海外経験等
3. 特別活動実績	6. 特別活動の記録
4. 受賞歴や資格取得等	7. 指導上参考となる諸事項 (4)取得資格，検定等 (5)表彰・顕彰等の記録
5. 上記以外の活動実績	5. 総合的な学習の時間の内容・評価 7. 指導上参考となる諸事項 (6)その他 8. 備考

調査書等の評価は，各学院とも，第２段階選抜の総合問題（100 点）の内に含めるものとします。

なお，調査書の活用については，志願者の高等学校等における日常的な学習や一般的な課外活動等を評価するものであり，高等学校等や受験生に対して特別な活躍や資格を提示すること，新たな取り組みを強いるものではありません。

また，各項目の評価は文章の表現や量に左右されるものではありません。

注１．情報理工学院を志願する場合，上表で示した調査書の評価項目が，別途提出を求めている活動実績報告書と重複しても差し支えありません。

注２．新型コロナウイルスの感染症拡大による緊急事態宣言が発令されたことに伴い，休校による出席日数や特別活動の記録，指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって，志願者が不利益を被ることのないよう考慮します。

８．追試験・別形式の選抜への振替

本学では，新型コロナウイルス感染症に罹患した入学志願者の受験機会を確保するため，総合型選抜において追試験又は別形式の選抜への振替を実施します。

ア　対象者

新型コロナウイルス感染症に罹患したこと等により，個別学力検査を受験できなかった志願者で，２月１１日（金）の試験終了時までに追試験の申請手続を完了した者

イ　その他

詳細は決定次第本学ホームページ「高校生・受験生向けサイト」にて公表します。

Ⅴ　私費外国人留学生特別入試

実施学院・系名	下記のとおり
募集人員	下記のとおり
出願資格	次の(１)，(２)及び(３)の全てを満たしている者 (１)日本国籍を有しない者 (２)在留資格「留学」の者又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者で，次の各号のいずれかに該当するもの ①　外国において，学校教育（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を除く。)における１２年の課程を修了した者及び令和４年３月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの(注1) ②　スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者，ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者，フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者及び「グレートブリテン及び北部アイルランド連合王国」において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）を有する者 ③　アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるWASC ，同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるACSI 又はグレートブリテン及び北部アイルランド連合共和国ハンプシャー市に主たる事務所が所在する団体であるCIS から教育活動等に係る認定を受けた外国に所在する教育施設に置かれる１２年の課程を修了した者及び令和４年３月３１日までに修了見込みの者 (３)独立行政法人日本学生支援機構主催，２０２１年度日本留学試験の日本語（記述，読解，聴解・聴読解）及び理系３科目（物理，化学，数学コース２：日本語又は英語での受験可）を受験し，日本語の成績が２９０点以上，理系３科目の成績が３１０点以上であること （成績結果は，６月又は１１月の試験のいずれか一方しか利用できない。） (注１)「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」とは，昭和５６年文部省告示第１５３号に指定されたもの (注２) 日本の高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者（卒業見込みの者を含む。）及び日本国永住許可を得ている者は，本入試に出願することはできない。
選抜方法等	大学入学共通テストを免除し，日本留学試験の成績並びに本学が行う学力検査及び面接の成績を総合して行う。なお，志願者が募集人員の約３～４倍を超えた場合には，本学が指定する日本留学試験の日本語及び理系３科目の成績（合計得点）により第１段階選抜を行うことがある。第１段階選抜に合格した者に対して，第２段階選抜として，学力検査（数学，物理，化学，英語，日本語)及び面接試験を行い最終合格者を決定する。ただし，第２段階選抜は学力検査を第１次選考とし，その合格者に対し第２次選考の面接試験を行う。
出願期間	令和４年　１月　４日（火）～　１月　６日（木）
選抜期日	第１段階選抜 合格者発表日：令和４年　１月１３日（木） 第２段階選抜 実施日：第１次選考（学力検査）令和４年　１月１９日（水） 第２次選考（面　　接）令和４年　２月１４日（月）
合格者発表日	令和４年　３月　９日（水）
入学手続日	令和４年　３月２２日（火）

実施学院・系名，募集人員

学　　院	系	募集人員
理学院	数学系 物理学系 化学系 地球惑星科学系	若干人
工学院	機械系 システム制御系 電気電子系 情報通信系 経営工学系	10人
物質理工学院	材料系 応用化学系	5人
情報理工学院	数理・計算科学系 情報工学系	若干人
生命理工学院	生命理工学系	若干人
環境・社会理工学院	建築学系 土木・環境工学系 融合理工学系	25人 （うち融合理工学系20人）

Ⅵ　国費外国人留学生優先配置入試

プログラム名	融合理工学系国際人材育成プログラム（GSEP）
実施学院・系名	環境・社会理工学院　融合理工学系
募集人員	国費外国人留学生若干人，私費外国人留学生１０人
出願資格	(A)国費外国人留学生を希望する場合 対　　象：新たに海外から留学する者 国　　籍：日本政府と国交のある国の国籍を有すること。 年　　齢：原則として，平成９年４月２日以降に出生した者 学　　歴：外国において，学校教育における１２年の課程を修了した者又は日本の高等学校に対応する学校の課程を修了した者（渡日前までに満たす見込みの確実な者を含む。又は，上記以外の資格により日本の大学入学資格を有する者を含む。） 渡日時期：原則として令和４年４月１日から４月７日までの間に渡日可能な者 査証取得：原則として渡日前に「留学」の査証を必ず取得し，「留学」の在留資格で入国すること。 そ の 他：次に掲げる者については，国費外国人留学生の対象外とする。採用以降に判明した場合には辞退すること。 ①渡日時及び奨学金支給期間において，現役軍人又は軍属の資格の者 ②本学の指定する期日までに渡日できない者 ③過去に日本政府（文部科学省）奨学金留学生であった者（渡日後辞退者含む） ④日本政府(文部科学省)奨学金制度による他の奨学金支給開始のプログラムとの重複申請をしている者 ⑤申請時に既に在留資格「留学」で日本の大学等に在籍している者及び申請時から奨学金支給期間開始前に私費外国人留学生として日本の大学等に在籍，又は在籍予定の者。ただし，現在，日本の大学等に在籍又は在籍予定の私費外国人留学生であっても，奨学金支給期間開始前に修了し帰国することが申請時において確実で，新たに在留資格「留学」を取得し渡日する者はこの限りではない。 ⑥奨学金支給開始後に日本政府（文部科学省）以外の機関（自国政府機関を含む）から奨学金を受給することを予定している者 ⑦「卒業見込みの者 」であって，所定の期日までに学歴の資格及び条件が満たされない者 ⑧申請時から日本以外での研究活動（インターンシップ，フィールドワーク等）や休学等を長期間予定している者 (B)私費外国人留学生を専願する場合 対　　象：海外在住，日本在住を問わない 国　　籍：日本国籍を有しない者 年　　齢：原則として，令和４年３月３１日までに１８歳に達する者 学　　歴：外国において，学校教育（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を除く。）における１２年の課程を修了した者及び令和４年３月までに修了見込みの者若しくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（注１）又は文部科学大臣の指定した者のうち本学が指定するもの（注２） 渡日時期：原則として３月中に渡日可能な者 査証取得：在留資格「留学」の者又は入学時に「留学」を取得出来る見込みの者 そ の 他：次に掲げる者については，合格等を取り消すことがある。 「卒業見込みの者」であって，所定の期日までに学歴の資格及び条件が満たされない者 （注１）「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」とは，昭和５６年文部省告示第１５３号に指定された者 （注２）「文部科学大臣の指定した者のうち本学が指定するもの」とは，昭和２３年文部省告示第４７号において第２０号から第２４号により，文部科学大臣が指定した者 （注３）日本の高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者（卒業見込みの者を含む。）及び日本国永住許可を得ている者は，本入試に出願することはできない。
選抜方法等	第１次選考を書類審査により行い，第１次選考の合格者に対し，第２次選考を面接及び筆記試験（高校の数学・物理・化学の範囲から出題する）で行い，最終合格者を決定する。
出願期間	令和３年　８月１６日（月）～　９月　３日（金）
選抜期日	第１次選考（書類選考）結果通知　令和３年　９月２４日（金） 第２次選考（面接及び筆記試験）　令和３年　９月２９日（水）～１０月２７日（水）
合格者発表日	令和３年１１月１７日（水）
入学手続日	令和４年　３月２２日（火）
その他	１．合格者のうち若干名を，本学より国費外国人留学生として文部科学省に推薦し，それ以外の合格者を私費外国人留学生として受け入れる。 ２．本入試に合格した者は，本学の他の入試に出願することはできない。 （入学辞退届を提出し，受理された者を除く。） ３．出願資格審査申請期間は７月７日（水）～８月２０日（金）とする。

Ⅶ　その他

１ 障害等の事前相談について

受験上又は修学上の配慮を必要とする者は，あらかじめ本学入試課へ相談してください。

特に，受験する際に配慮が必要な者は，内容によっては対応に時間を要することもあるので，**出願前のできるだけ早い時期**に相談してください。日常生活において使用している補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合等も同様です。

点字又は代筆による解答を希望する者は，令和３年１１月２６日（金）までに申し出てください。申し出がなかった場合，受験上の配慮ができなくなることがありますので，十分に注意してください。

２ 入試情報の提供について

入学試験に係る統計データは，令和４年４月以降にホームページ等により公表します。

３ 学士課程２年目における系ごとの受入可能人数（参考）

学　院	系	受入可能人数
理 学 院	数学系	29 人
	物理学系	61 人
	化学系	44 人
	地球惑星科学系	32 人
工 学 院	機械系	144 人
	システム制御系	48 人
	電気電子系	90 人
	情報通信系	49 人
	経営工学系	62 人
物質理工学院	材料系	92 人
	応用化学系	109 人
情報理工学院	数理・計算科学系	37 人
	情報工学系	64 人
生命理工学院	生命理工学系	164 人
環境・社会理工学院	建築学系	62 人
	土木・環境工学系	40 人
	融合理工学系	45 人

※２年目に所属する系は，系の受入可能人数を勘案し，学生の志望及び１年目の学業成績により決定します。

Ⅷ　令和４年度募集要項等の請求方法

（１）大学のホームページから請求する場合

東京工業大学高校生・受験生向けサイトの「募集要項の請求方法」ページのリンクより，テレメールによる資料請求ができます。

（２）テレメールで請求する場合（インターネット・自動音声応答電話）

① インターネット（パソコン・スマホ・ケータイ）又は電話をご利用ください。

テレメール

インターネット（パソコン・スマホ・ケータイ）の場合	自動音声応答電話の場合
https://telemail. jp ※パソコン・携帯電話各社共通アドレスです。	ＩＰ電話（２４時間受付） 050-8601-0101
２次元コード ※対応するスマホ・ケータイで読み取れます。	※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも３分毎に約１２円です。

② 希望する資料請求番号（６桁）を入力又はプッシュしてください。

資料名	資料請求番号	料金（送料含）	発送開始日
入学案内 ２０２２	５６２５７１	２５０円	発送中
総合型選抜募集要項（工学院，物質理工学院，情報理工学院，生命理工学院，環境・社会理工学院）	５８６２６１	２１０円	９月上旬発送予定

※ 料金は，昨年度資料を基に算出しているため，変更する場合があります。
※ 上記以外の募集要項等に関しては，本学ホームページをご覧いただくか，学務部入試課まで問い合わせてください。
※　一般選抜募集要項（前期日程）はウェブサイトのみで公開し，冊子の配布は行いません。

③ ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。

※ 料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上，資料到着後二週間以内に表示料金をお支払いください。なお，支払い手数料が別途必要になります。（「コンビニ支払い」「LINE Pay 請求書支払い」は88円（時期及び資料により86円），「クレジットカード払い」「ケータイ払い」は50円です。ゆうちょ銀行･郵便局での通常払込みもご利用になれます。また，複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。）

（３）モバっちょで請求する場合

携帯電話を利用する場合	パソコンを利用する場合
※「モバっちょ」では，資料請求料金を携帯電話の通話料金と一緒にお支払いいただけますので，郵便局等に払い込みに行く必要なく請求できます。 ※携帯電話の機種，携帯電話会社との契約状況によってご利用できない場合があります。	クレジットカード決済のみとなりますが同じ料金で請求できます。 **http://djc-mb.jp/titech3/**

※（１），（２）の請求方法についての問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター（9:30～18:00）　　電話　０５０－８６０１－０１０２

※（３）の請求方法についての問い合わせ先
モバっちょカスタマーセンター（平日 10:00～18:00）　電話　０５０－３５４０－５００５

※問い合わせは志願者本人が行うこと

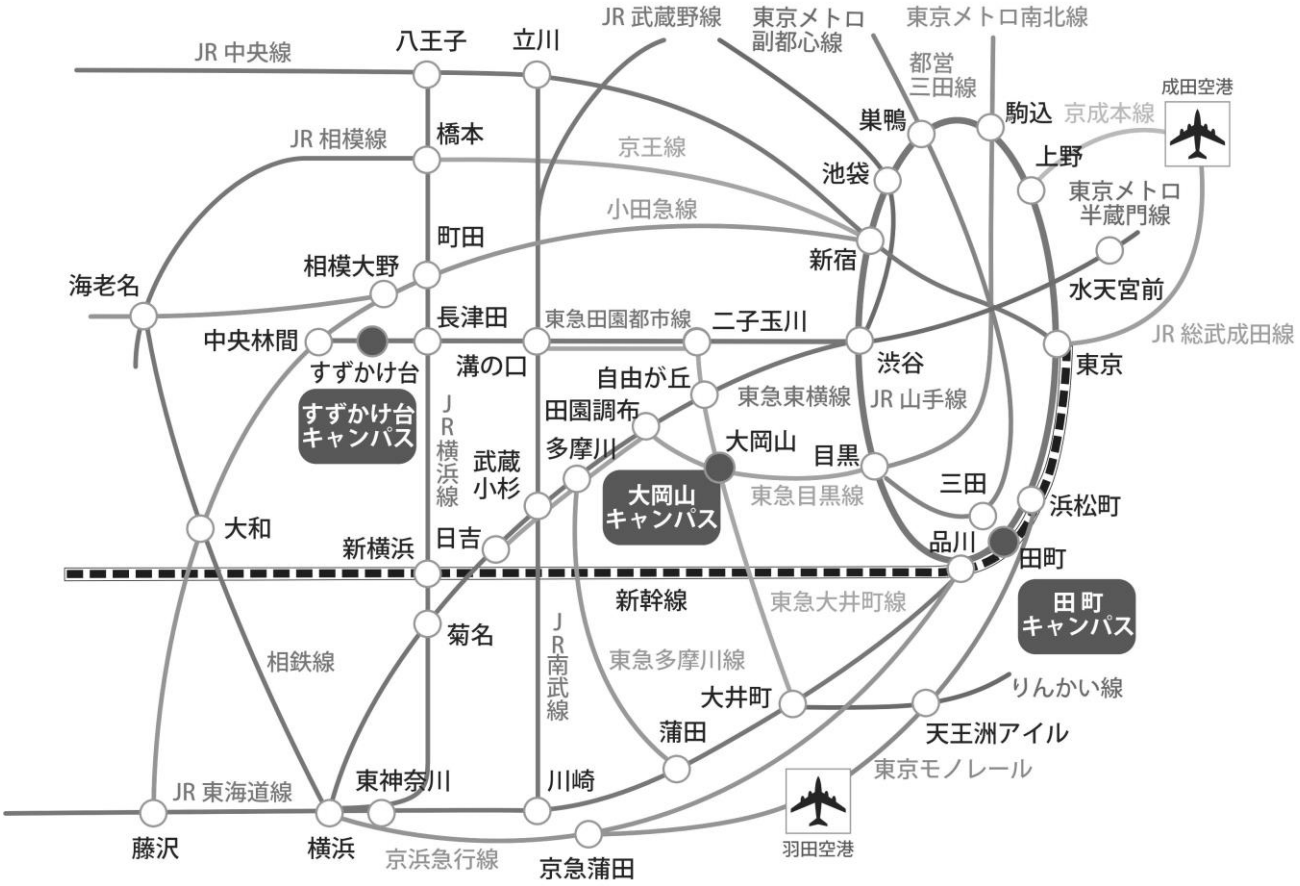
東京工業大学　学務部入試課

〒152-8550　東京都目黒区大岡山２－１２－１－Ｗ８－１０３
TEL（03)5734-3990（平日 9:00～17:15（12:15～13:15 を除く））

※入試に関する最新情報等

東京工業大学ホームページ　　https://www.titech.ac.jp/

「高校生・受験生向けサイト」　https://admissions.titech.ac.jp/

MAP

- 大岡山キャンパス　東急大井町線・目黒線（大岡山駅下車徒歩１分）
- すずかけ台キャンパス　東急田園都市線（すずかけ台駅下車徒歩５分）
- 田町キャンパス　JR 山手線・京浜東北線（田町駅下車徒歩２分）